

留 学 報 告 書

記入日:2020年12月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部 文学科 演劇学専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University, Long Beach
留学期間	2020年08月～2020年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期: 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	39,359人
創立年	1949年

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		0円	
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		28,596円	教科書代(購入)
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		28,596円	

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

なしあり(問題の内容や相談した人等:)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
9 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 特になし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Film Production	映画製作入門
科目設置学部・研究科	Film and Electronic Arts
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(zoom)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回
担当教授	Charles Myers
授業内容	映画製作の基礎(撮影技術、美術、映画音楽について)を学ぶ。本来は実際に機材を使って映像制作をする授業だったが、オンラインだったため、授業中に各自お題に沿った短い映像を作成し、それを見せ合ってディスカッションをした。
試験・課題など	毎週小テスト、隔週でオンラインディスカッションがあり、中間試験、期末試験は共にオンラインテストだった。
感想を自由記入	将来映画業界を目指している学生向けの授業で、先生も国内外の映画製作に関わっている方だったので、学ぶことが多くとても面白かった。先生は陽気な方で、個人的に 1 番楽しい授業だったし、クラスメイトと話した時も皆がそう言っていた。少人数のクラスだったため、他の学生と zoom 上で話す機会が多かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Race and Hollywood	人種とハリウッド映画
科目設置学部・研究科	American Studies
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(zoom,配信動画)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 105 分が 2 回
担当教授	Justin Gomer
授業内容	ハリウッド映画から見るアメリカの人種差別問題を学ぶ。1週間に1本映画を観て、その映画に隠された差別問題についてサイト上でディスカッションをした。
試験・課題など	毎週のオンラインディスカッション、3 回の小テスト、1 回の分析レポート提出があり、中間試験、期末試験は共にオンラインテストとレポートだった。
感想を自由記入	授業開始が夜中だったので頭を冴えさせるのが大変だった。授業内容はとても興味深く、現地の人目線のアメリカの人種差別の歴史を学ぶことができた。また、様々な人種の学生が参加していたため、人種差別に関する沢山の意見を知ることができ、映画の見方も変わった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender, Race, Sex and the Body	ジェンダー、人種、性、体について
科目設置学部・研究科	Women's, Gender & Sexuality Studies
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義動画配信(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 回
担当教授	Mariam Youssef
授業内容	アメリカにおける男女間、人種間格差について、あらゆる角度から考える。毎週違う話題について学ぶ。
試験・課題など	毎週オンラインディスカッションとレポート提出があり、中間試験、期末試験は共にレポートだった。オンラインディスカッション上で、個人でジェンダーについて調べて発表をする回もあった。
感想を自由記入	配信のみの授業だったため、リアルタイムでの交流はなかったが、時差を気にせず授業を受けられたことは良かった。授業内容はとてもカジュアルで、毎週提示される資料も面白く、楽しくジェンダーや人種について学ぶことができた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2019年 1月～3月	2-3月: 海外文化・専門集中講座参加(UCDavis, EGB コース)
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	10月: IELTS 受験 11-12月: 学内選考
2020年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	8月: 授業開始
10月～12月	10月: 中間試験 12月: 期末試験

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

映画スタジオがたくさんあるロサンゼルスに位置し、映画を学問的に学ぶことができる大学として有名だったためこの大学を選びました。全てオンラインとなってしまったので現地に行くことはできませんでしたが、このような状況下でも現地の学生と一緒に授業を受けられたことはとても貴重な体験でした。オンライン留学はまだ経験した人が少なく情報も少ないので不安なことが多いかと思います。私から言えることは、勉強したいことがあるのならば、オンラインでも十分学べるということです。実践的な活動をしたくて留学を希望されているのであれば実際に現地に行けるようになるまで待つべきかなとは思いますが、明治の授業がそうであるように、オンラインでも対面授業と同じ授業スケジュールで進んでいる印象があります。授業面では、オンラインになったから何かができなかった、ということとは少ないと感じました。現地に行けない、時差もある、ということで皆さんの思い描くキラキラ留学生活とはかけ離れてしまうかもしれませんが、オンラインでも行動次第で友達を作ることは可能ですし、経験した人が少ないからこそ周りから面白がられたりします。ポジティブに頑張ってください。